

投与量および投与間隔の目安

腎機能が低下している患者さん、高齢者では、精神神経系の副作用が現れやすいので、投与量の調節が必要です。これらの患者さんに本剤を投与する場合には、問診や、必要に応じて腎機能検査を実施してください。

腎機能の低下した患者さん、高齢者には以下のクレアチンクリアランスによる投与量および投与間隔の目安を参考にしてください。

なお、腎障害を有する小児患者における本剤の投与量、投与間隔調節の目安は確立していません。

クレアチンクリアランス (mL/min)	単純疱疹/造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症(単純疱疹)の発症抑制	帯状疱疹/ 水痘	性器ヘルペスの再発抑制
≥50	500mgを 12時間毎	1000mgを 8時間毎	500mgを24時間毎 なお、HIV感染症の患者(CD4リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、500mgを12時間毎
30~49		1000mgを 12時間毎	
10~29	500mgを 24時間毎	1000mgを 24時間毎	250mgを24時間毎 なお、HIV感染症の患者(CD4リンパ球数 100/mm ³ 以上)には、500mgを24時間毎
<10		500mgを 24時間毎	
血液透析患者	患者の腎機能、体重又は臨床症状に応じ、クレアチンクリアランス10mL/min未満の目安よりさらに減量(250mgを24時間毎等)することを考慮すること。 また、血液透析日には透析後に投与すること。		

体内の薬物動態には個人差があるため、目安通りに投与された場合でも精神神経系の副作用が発現する可能性がありますので、このような副作用が発現した場合には直ちに服用を中止し、医師に連絡するよう患者さんにご説明ください。

バラシクロビル1000mg単回経口投与後、4時間の血液透析により、血漿中のアシクロビルの約70%が除去されたとの報告があります。活性代謝物であるアシクロビルを点滴静注したときの、腹膜透析による平均除去率は約12%であったとの報告があります。

製造販売元



エルメッド エーザイ株式会社
東京都豊島区東池袋3-23-5

販売提携



エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

商品情報お問い合わせ先：

エーザイ hhcホットライン EEダイヤル ☎0120-223-698

CODE VCV(1)003A

2015年9月作成